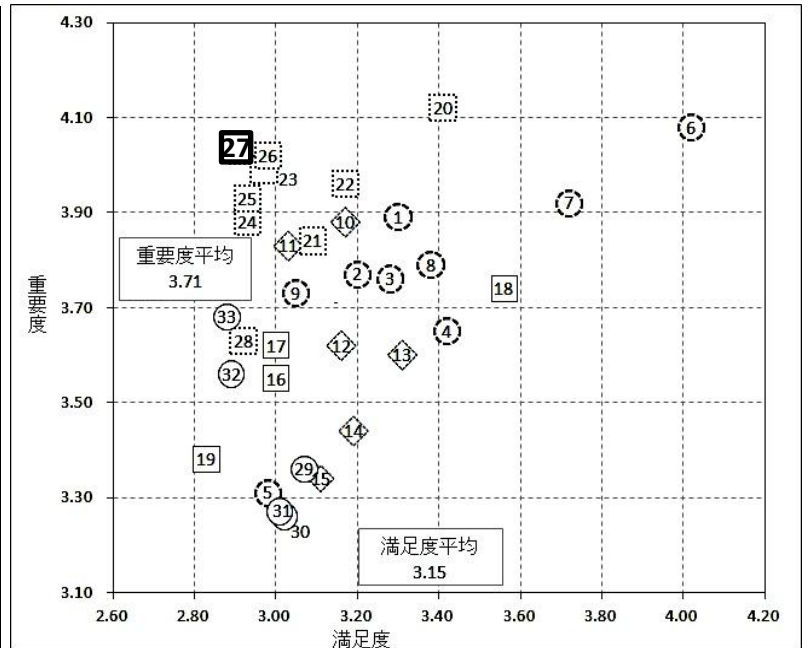


基本施策	48 防犯・交通安全		
施策の内容	施策	担当課	関係課
	481 防犯・交通安全意識の高揚	安全	
	482 地域の安全性の強化	安全	土木
	483 地域の安全活動の推進	安全	

施策責任者	市民活動部長
とりまとめ課	市民安全課

基本施策の位置づけ	第7次総合計画	基本方針	4	支えあいみんなが元気で安心して暮らせるまちづくり
		めざす姿(生活像)	まちの状態	地域安全パトロール隊が積極的に活動し、地域の安全を守っています。 交通安全施設が充実し、交通事故が少なくなっています。
			市民の暮らし	高い防犯意識や交通安全意識を持って生活をしています。 防犯対策や交通安全対策が充実し、市民が安心して暮らしています。

満足度・重要度評価項目	区分	22年度		24年度		
		27 防犯・交通安全対策の推進	満足度	当該施策 2.89 平均値 3.09 施策順位 26/33	2.91 3.15 30/33	重要度



目標指標の達成状況	指標名称	単位	実績値		目標値	
			22年度	24年度	27年度	32年度
まちの状態	地域安全パトロール隊員数	人	1,988	2,158	2,200	2,400
	犯罪や事故への不安がなく安心して外出できるとする市民の割合	%	49.7	51.4	55	60
市民の暮らし	人口1,000人当たりの人身事故発生件数(県平均6.9件)	件	7.4	6.9	県平均以下	県平均以下
	人口1,000人当たりの犯罪発生件数(平成24年度県平均14.13)	件	24.0	15.3	県平均以下	県平均以下
補足指標	防犯灯設置累計数	基	7,754	7,834	7,984	8,200

施策推進に関連する団体	市民、自治会、警察、刈谷防犯協会連合会、交通安全協会刈谷支部、小学校、保育園、幼稚園、公民館、企業
-------------	---

基本施策の評価	現状の分析と課題	<p>防犯及び交通安全に対する重要度は非常に高い。市内の犯罪件数が県平均より多いことや、罪種が多様化していることとともに、身近な問題として交通安全に対する意識も高く、市民の関心が高いことが窺える。</p> <p>犯罪の件数で見ると、人口1,000人当たりの犯罪発生件数は大きく減少している。さらに、策定当時の県平均は19.1件で、刈谷市の発生件数が24件であることに対し、平成24年度では県平均14.13件に対して、15.3件であることから、県平均に対する差も縮まっており、これは、目標指標「地域安全パトロール隊員数」の増加や地区パトロール隊と地域住民への啓発、青色防犯パトロール車の配備などから、防犯機能が強化された結果であると思われる。しかしながら、未だ県平均よりは高い状況であるため、今後も防犯活動を積極的に行っていく必要がある。現在は、国道23号、国道155号沿線で侵入盗、自動車関連窃盗が多発している状況であり、他地区の防犯事例を参考に、今後も対応を検討していく必要がある。</p> <p>交通安全の面では、交通事故件数、死傷者数は減少しているが、愛知県全体が全国の中でも交通死亡事故発生件数が多い現状であることから、県平均としても決して少ない数字ではなく、悲惨な交通事故が後を絶たない現状である。以上のような理由から満足度が低い結果となっていると思われる。</p> <p>しかし、目標指標「犯罪や事故への不安がなく安心して外出できるとする市民の割合」は、49.7%から51.4%に増加していることから市や関連団体の取組の効果が表れていると考えることができ、今後も積極的な取組を実施する必要がある。</p>
	今後の方向性	<p>防犯の対策として、防犯意識の高揚とともに、ハード整備に重点的を置いた取組を推進する。既に実施している防犯灯の整備を促進するとともに、防犯カメラの設置についても積極的な検討を行い、地域の犯罪発生を抑止に取り組んでいく。また、防犯意識の高揚及び安全活動を推進するため、刈谷市地域安全パトロール隊が効果的に活動できるよう、発生する罪種や地域の傾向等を警察と協力して分析し、適時情報を発信していく。さらに、警察、企業、関係機関と連携して活動するなど防犯活動の規模を拡大するとともに、引き続き自治会の防犯パトロール等の活動を推進するため、様々な補助を行う。</p> <p>交通安全対策では、カラー舗装やゾーン30の取組を積極的に展開し、交通事故の発生抑止に努めていく。また高齢者の人身事故件数の割合が増えていることから交通安全教室や独居高齢者宅への個別訪問を引き続き実施し、より一層の交通安全啓発の充実を図り交通事故の減少を図る。</p>
	共存・協働のまちづくりの推進状況	自治会のパトロール隊が、ボランティアでおこなう防犯活動に対し、警察とともに活動したり、装備品等の購入の補助を今後とも行っていく。また、児童・生徒の交通安全教育の充実、地域住民や事業所とのより一層の連携を図った交通安全啓発、交通安全教育に取り組んでいく。

平成25年度 刈谷市施策評価シート

施策全体の投入コスト (単位：千円)	構成事務事業の投入コストの合計	23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（当初）
		211,381	220,799	274,947
		0.6%	0.6%	0.8%

◎	施策の成果向上を図るため最も重点的に推進すべき事項
○	現状どおり推進すべき事項
▲	施策の内容が達成されている、又はコスト削減を図れる事項

「施策の内容」の推進状況と課題	481 防犯・交通安全意識の高揚		担当課	安全	関係課					
	投入コスト (千円)	23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（当初）	重点プラン			重要度	構成事務事業	
		20,510 9.7%	16,757 7.6%	20,933 7.6%	該当	01	17		○	5
	成果	自動車関連窃盗抑止のため、刈谷警察署、刈谷市地域安全パトロール隊等と決起集会を開催した。自動車関連窃盗は平成23年中は547件であったが、平成24年は519件と28件減少した。また、幼児対象の交通安全教室を106回（約5,000人）、児童及び生徒対象の交通安全教室を24回（約2,000人）、高齢者対象の交通安全教室を18回（約500人）開催した。家庭、地域、教育機関の交通安全意識が高揚し、平成22年中、平成23年中、平成24年中には刈谷警察署管内の過去10年間の交通事故死者数の平均（7.1人）を下回ることができた。			課題	行政、地域、企業、学校など関係団体それぞれが協力した防犯活動は行っているが、関係団体と計画的、継続的に防犯活動を行う必要がある。また、交通事故の抑止を図るため、継続的に児童及び生徒対象の交通安全教室を開催するとともに、より多くの高齢者の交通安全意識高揚のため交通安全啓発活動を推進する必要がある。				
	482 地域の安全性の強化		担当課	安全	関係課	土木				
	投入コスト (千円)	23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（当初）	重点プラン			重要度	構成事務事業	
		169,420 80.1%	188,817 85.5%	242,403 88.2%	該当	01			◎	12
	成果	自動車関連窃盗（自動車盗、部品ねらい、車上ねらい）抑止のため、防犯カメラ設置補助を行い、2件6台のカメラに設置に対し補助金を交付した。また、交通安全施設（道路反射鏡、道路安全灯、道路点滅鏡等）の不具合や破損を発見し修繕を行うことや、地域から要望のあった交通事故の危険がある交差点等に交通安全施設を設置、路面をカラー化することで、交通事故防止対策を図ることができた。駐輪場の自転車整理、路上の放置自転車の回収、返還により駅前交通環境を維持するとともに、自転車放置による防犯環境悪化を防いだ。			課題	昨年より自動車関連窃盗の件数は減少したが、まだまだ厳しい状態であるため、警察と協力して、自治会が開催する集会等で現状の説明及び対策を講じる必要である。また、交通安全施設の設置後において交通安全施設の効果測定による検証や施設の破損等による倒壊の危険度を行う必要がある。				
	483 地域の安全活動の推進		担当課	安全	関係課					
	投入コスト (千円)	23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（当初）	重点プラン			重要度	構成事務事業	
21,451 10.1%		15,225 6.9%	20,862 7.6%	該当	01	18		○	3	
成果	自治会が行う防犯活動に対し補助金を交付することで、自主パトロール活動や、地域の中の広報活動が実施され、防犯意識の高揚及び防犯力の向上に繋がった。夜間の青色回転灯装備車両によるパトロール活動により自主パトロール活動が困難な時間帯を補完した。			課題	犯罪発生件数を減少させるため、引き続き自治会が継続的に補助金の交付を行うとともに、パトロール隊が効率よく、効果的に活動できるよう迅速な情報提供、交番の活用等を、警察と協力して検討していく必要がある。					
		担当課		関係課						
投入コスト (千円)	23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（当初）	重点プラン			重要度	構成事務事業		
成果				課題						
		担当課		関係課						
投入コスト (千円)	23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（当初）	重点プラン			重要度	構成事務事業		
成果				課題						

基本施策	48 防犯・交通安全		
施策の内容	施策	担当課	関係課
	481 防犯・交通安全意識の高揚	安全	
	482 地域の安全性の強化	安全	土木
	483 地域の安全活動の推進	安全	

拡充		⑤	②	①
現状維持		⑥	③	
改善・効率化		⑦	④	
縮小		⑧		
終期設定		⑨		
休止・廃止	⑩			
	無	縮小	維持	拡充
	予算対応の考え方			

●構成する主な事務事業

481		防犯・交通安全意識の高揚		総事業コスト（単位：千円）			事務事業評価（24年度決算）					予算対応の考え方	担当課
事業No	事務事業名	重点P	23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（当初）	必要性	効率性	妥当性	貢献度	方向性			
1	防犯推進事業	01	7,834	6,671	9,661	高い	普通	普通	普通	改善・効率化	④	市民安全課	
2	交通安全啓発事業	01	5,482	5,077	5,048	高い	普通	高い	高い	改善・効率化	④	市民安全課	
3	イエローストップ運動推進事業	01	1,347	1,519	1,604	高い	普通	高い	高い	改善・効率化	④	市民安全課	
4	自転車大会開催事業	17	2,511	1,240	1,449	高い	普通	高い	高い	現状維持	③	市民安全課	
5	交通安全教室開催事業	17	3,336	2,250	2,294	高い	普通	高い	高い	現状維持	③	市民安全課	
6													
備考													

482		地域の安全性の強化		総事業コスト（単位：千円）			事務事業評価（24年度決算）					予算対応の考え方	担当課
事業No	事務事業名	重点P	23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（当初）	必要性	効率性	妥当性	貢献度	方向性			
1	防犯カメラ設置補助事業	01	—	1,354	6,474	高い	普通	普通	普通	現状維持	③	市民安全課	
2	放置自転車等整理事業		26,197	27,467	34,809	高い	普通	高い	高い	現状維持	③	市民安全課	
3	防犯灯管理事業	01	36,749	31,084	38,805	高い	普通	普通	普通	改善・効率化	④	市民安全課	
4	交通指導員設置事業	01	19,891	18,899	22,093	高い	高い	高い	高い	現状維持	③	市民安全課	
5	交通安全施設管理事業	01	40,187	47,659	55,114	高い	普通	普通	高い	現状維持	③	市民安全課	
6	交通安全施設整備事業	01	—	6,622	8,265	高い	普通	高い	高い	現状維持	③	市民安全課	
備考													

483		地域の安全活動の推進		総事業コスト（単位：千円）			事務事業評価（24年度決算）					予算対応の考え方	担当課
事業No	事務事業名	重点P	23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（当初）	必要性	効率性	妥当性	貢献度	方向性			
1	地域防犯活動推進事業	18	2,870	2,444	3,952	高い	高い	高い	普通	拡充	②	市民安全課	
2	地域防犯夜間巡回委託事業	01	17,514	12,128	7,474	高い	普通	普通	普通	拡充	②	市民安全課	
3	町名表示板設置管理事業		1,067	653	1,062	普通	普通	普通	普通	改善・効率化	④	市民安全課	
4													
5													
6													
備考													

				総事業コスト（単位：千円）			事務事業評価（24年度決算）					予算対応の考え方	担当課
事業No	事務事業名	重点P	23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（当初）	必要性	効率性	妥当性	貢献度	方向性			
1													
2													
3													
4													
5													
6													
備考													

				総事業コスト（単位：千円）			事務事業評価（24年度決算）					予算対応の考え方	担当課
事業No	事務事業名	重点P	23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（当初）	必要性	効率性	妥当性	貢献度	方向性			
1													
2													
3													
4													
5													
6													
備考													